

記入例

第 号
年 月 日

※さかのぼらないようにしてください。

新潟県教育委員会教育長 様

住 所 ※通知者住所

※「別記」の「6. 工事主体者」と同一です。

氏名等 ※通知者氏名

埋蔵文化財発掘の通知について

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事などのための発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）第 94 条第 1 項、同法第 184 条第 1 項及び文化財保護法施行令（昭和 50 年政令第 267 号）第 5 条第 1 項の規定により、下記の事項について、関係書類を添付し、別記のとおり通知します。

記

1. 土木工事等をしようとする土地の所在及び地番
2. 土木工事等をしようとする土地の面積
3. 土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所
4. 土木工事等をしようとする土地に係る遺跡の種類、員数及び名称並びに現状
5. 当該土木工事等の目的、計画及び方法の概要
6. 当該土木工事等の主体となる者（当該土木工事等が請負契約等によりなされるときは、契約の両当事者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
7. 当該土木工事等の施工担当責任者の氏名及び住所
8. 当該土木工事等の着手の予定時期
9. 当該土木工事等の終了の予定時期
10. その他参考となるべき事項

位置図：1/50,000～1/25,000程度の地図上に
工事予定地点を示してください。
周辺図：1/3,000程度（住宅地図も可）の地図上に
工事予定範囲を示してください
（着色する、網かけするなど）。

【添付書類】

土木工事等をしようとする土地及びその付近の地図並びに当該土木工事等の概要を示す書類及び図面

掘削規模の分かる図面です。
建物等の配置図、基礎伏せ図、基礎断面図は必須となります。
（図中に縮尺を明記してください）
その他の図面が必要な場合もありますので、
詳しくは歴史文化課とご協議ください。

平面図・断面図
※縮尺は正しいものをお付けください。

※2部作成のうえご提出ください（添付書類含む）。

記入例

別 記

第 94 条第 1 項 ※太枠の中のみご記入ください。

1. 所 在 地	新潟市 ※工事予定地の地番をご記入ください。		
2. 工 事 面 積	※工事予定地の総面積をご記入ください。		
3. 土 地 所 有 者	住 所：※工事予定地所有者の住所をご記入ください。 氏名等：※工事予定地所有者の氏名をご記入ください。		
4. 遺 跡 の 種 類	散布地 遺物包含地 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 横穴墓 塚 その他の墓 生産遺跡 その他の遺跡 ()		
遺 跡 の 名 称	** 遺跡 (No. ***)	員数	1
遺 跡 の 現 状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他 ()		
遺 跡 の 時 代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 その他 ()		
5. 工 事 の 目 的	道路 鉄道 空港 河川 港湾 ダム 学校建設 集合住宅 個人住宅 工場 店舗 個人住宅兼工場又は店舗 その他の建物 () 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ゴルフ場 観光開発 ガス・水道・電気等 農業基盤整備事業 (農道などを含む) 土砂採集 その他開発 ()		
工 事 の 概 要	※掘削部分の仕様・規模を簡潔にご記入ください。 特に地盤改良の有無、仕様については必ずご記入ください。 例：布基礎 幅****mm 掘削GL-****mm 柱状改良有り (径****mm, 長さGL-****mm, **本) など		
6. 工 事 主 体 者	住 所：※工事主体者=届出者です。個人住宅の場合お施主様の住所になります。 氏名等：※工事主体者=届出者です。個人住宅の場合お施主様の氏名になります。		
7. 施 工 責 任 者	住 所：※施工担当 (工務店等) の住所 氏名等：※施工担当責任者氏名 課長名		
8. 着 手 予 定 時 期	年 月 日	9. 終 了 予 定 時 期	年 月 日
10. 参 考 事 項	※ここには記入しないでください。		
指 導 事 項	発掘調査 工事立会 慎重工事 その他 ()		

- 〔注意事項〕 ①太線内は届出・通知者が記入。②指導事項は県教育委員会で記入。
 ③遺跡の種類・現状・時代及び工事の目的欄は当該項目を○で囲み、
 当該項目のない場合は () 内に記入。

※2部作成のうえご提出ください(添付書類含む)。